市内事業所の通勤実態調査

(1) 市内事業所の状況

1.通勤実態調査の目的

本市内では、各所で通勤時に渋滞が発生しており、交通問題となっている。このため、市内事業所の通勤状況を把握するとともに、「交通意識変革促進プログラム」などの通勤交通対策の本格実施の可能性を検討するために調査を実施した。

2.市内事業所の抽出

事業所は、中小企業法によると業種によって異なるが、従業員 50 人以下の企業は全て中小企業と位置づけられている。また、参考として従業員 20 人以下の企業でも小規模企業に位置づけられる場合がある。今後の渋滞対策を検討する上では、ある程度の従業員規模の企業を対象とする必要がある。

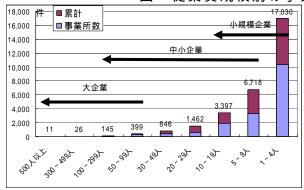
統計書等(事業所統計調査:5 区分、愛知県統計年鑑、豊橋市統計書)の区分では、 従業員30人以上で区分する場合が多く、統計書との活用性も考慮して、30人以上 の事業所に対して調査を実施する。

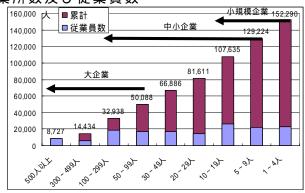
従業員規模 30 人以上の企業は、企業数では全体の 5%(846/17,030)であるが、 所属する従業員数は全体の 44%(66,886/152,290)を占める。

業 種	資本金	常時雇用する 従業員	【参考】 小規模企業
製造業・建設業・運輸・通信・ その他の業種	3億円以下	300 人以下	20 人以下
卸売業	1億円以下	100 人以下	5 人以下
サービス業	5000 万円以下	100 人以下	5 人以下
小売業	5000 万円以下	50 人以下	5 人以下

表・中小企業法による分類



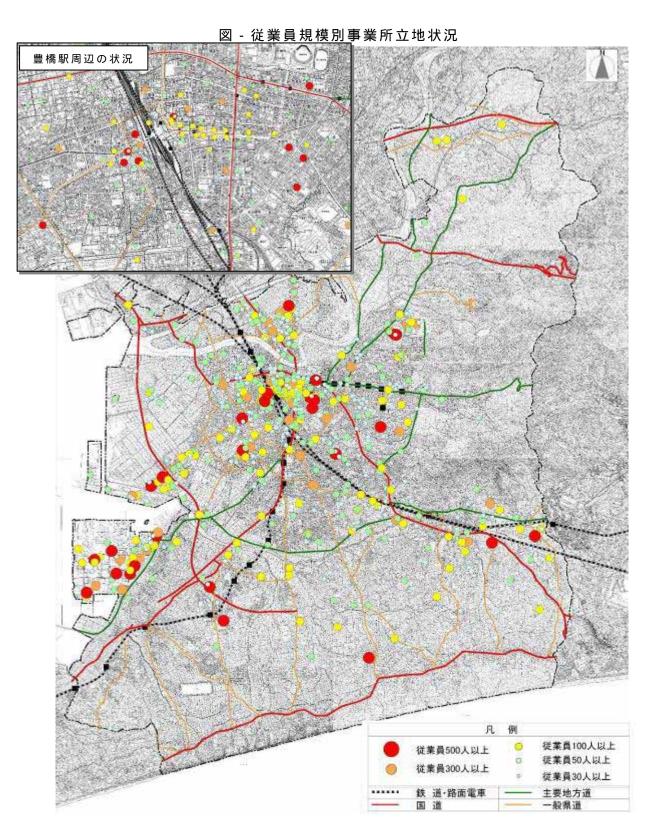




事業所·企業統計 H13 年

3.市内事業所の立地状況

本調査では、従業員 30 人以上の事業所を対象としたが、この事業所の従業員規模別の立地状況を見ると、豊橋駅周辺の中心市街地に事業所が集中しているものの、比較的小規模な事業所が多くなっている。また、従業員が 500 人以上の大規模な事業所は郊外部にも点在し、物流の利便性が高い臨海部や国道 1 号及び国道 23 号沿いに立地している。



- 2 -

市内事業所の通勤実態調査の内容

市内事業所への通勤実態調査は、調査票を各事業所の人事・総務担当者へ郵送し、 郵送によって回収した。事業所によって状況が異なるため、記載できる範囲での記 入を依頼し、特にクルマ通勤に対する考えは担当者の考えとした。

通勤実態調査により、事業所のクルマ通勤に対する意識、クルマ通勤を抑制する ための取り組みの実施状況や実施していない場合の今後の実施可能性等について把 握し、通勤交通対策を検討するための基礎資料とする。

配布資料

・調査依頼書 ・アンケート票

図 - アンケート票







青年年刊には、 マイカー選和を終うし	enene	D + H. M-GED D M-GCED
BRITIS BERLINS		13 94L 88285 11 BMCRS
美術館所で、マイカー 前りず350年前開する 9番、おり即名とおり	Ces.	D +0, 8085 D 80850
VYD-BBIRE CD25CBG868	Company of the Compan	MARK CHICARD SHAR
0.88~00		MACKELL INTERNATIONAL STREET
マイガー連動者 実施することで等ら れると思う配発		日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
推出マネクメント	60140017	CENTROL CENTRAL CENTRAL
部内組みにつられて 「禁止をしく口をおり でいる意味は一を回り での意味をしていない	HESIXENTH*	OBMICO- OBMINIO- OBMINO
	HED 35 y 72 *	DESIGNATE DESIGNATION DESIGNATION
集合に対し物象的の概念 展開についてと参う仕	mi-senter	CERTAINS CERTAINS CERTAINS
TERM	éce i I	OMMENTA DESIMENTA DEMENSIO
その他の意識への 他の他をがあれば 他入してください		
	The state of	
O BRIDGE	ST-SKICHES	見がございましたもご組入ください。

(3) 市内事業所の通勤実態調査の結果

1.通勤実態調査の回収状況

通勤実態調査を「豊橋商工名鑑(平成 19年版)」における従業員 30人以上で所在地が豊橋市内の事業所 672 社に公的機関 25 件を追加して郵送により実施した。配布事業所数に対する回収率は 49.8%と比較的高くなっており、配布事業所の従業員数に対する回収率は 39.0%となっている。

表 - 通勤実態調査アンケート票回収状況

配	布	数	697	民間:672、	公的:25
回	収	数	347		
回	収	率	49.8%		

	2.通動実態調査結果					
事業所の概要について						
業種は?	□ 農林漁業 □ 鉱業 □ 建設業 □ 製造業 □ 運輸業 □ 情報通信業 □ 電気・ガス・熱供給・水道業 □ 卸売・小売業 □ 金融・保険業 □ 不動産業 □ 飲食店・宿泊業 □ 医療・福祉					
	□ 教育·学習支援業 □ 複合サービス業 □ サービス業・その他					
・業種は、「製造業」が なっている。	35.7%と最も多く、次いで「サービス業・その他」が 19.6%	٢				
選択肢	件数 0% 10% 20% 30% 40%					
農林漁業	2 🛭 0.6%					
鉱業	1 0.3%					
建設業	34 ////////////////////////////////////					
製造業	124					
運輸業	29 7////////////////////////////////////					
情報通信業	5 2 1.4%					
電気・ガス・熱供給・水道業	4 🖾 1.2%					
卸売·小売業	58 ////////////////////////////////////					
金融·保険業	4 🖾 1.2%					
不動産業	4 🖾 1.2%					
飲食店·宿泊業	2 2 0.6%					
医療·福祉	8 222 2.3%					
教育·学習支援業	5 2 1.4%					
複合サービス業	1 0.3%					
サービス業·その他	68					
無回答	9 2.6%					
計	358 N=347					
□ 定時制 □ 交代制						
勤務時間は?	(:) ~ (:) ① (:) ~ (:)				
(通常の勤務時間をお答え ください) [ロ フレックス制 ②(:)~(:)				
(1207)						
③ (:_) ~ (:_)						
・勤務体制は、「定時制」が84.1%と最も多く、フレックス制は1割に満たない。						
選択肢	件数 ⁰ % 20% 40% 60% 80% 100%					
定時制	292					
交代制	83 /////////// 23.9%					
フレックス	27 7.8%					
無回答	7 🛮 2.0%					
計	409 N=347					

定時制

始業時間は?

・始業時間は、8:00~8:30が45.5%と最 も多く、次いで 8:30~9:00 が 36.3%と なっている。

・始業時間は、8:00~10:00が71.1%と 最も多く、次いで6:00~8:00が31.3% となっている。

交代制

始業時間

選択肢	件数□	% 10%	20%	30%	40%	50%
7:00より前	1	0.3%		1	!	ļ !
7:00 ~ 7:30	4	1.4%	 	į	-	I I
7:30 ~ 8:00	1	0.3%	į	į	į	i
8:00 ~ 8:30	133					45.5%
8:30 ~ 9:00	106				☑ 36.3%	6
9:00 ~ 9:30	48		2 16.4%		i	
9:30 ~ 10:00	1	0.3%	i	į	į	i
10:00以降	3	1.0%	1	I I	I I	
無回答	1	0.3%		I I	I I]]
計	298					

N=292

始業時間

지ᄎ비미		
選択肢	件数 0	% 20% 40% 60% 80%
2:00より前	2	2.4%
2:00 ~ 4:00	1	1.2%
4:00 ~ 6:00	6	7.2%
6:00 ~ 8:00	26	31,3%
8:00 ~ 10:00	59	71.1%
10:00 ~ 12:00	19	22.9%
12:00 ~ 14:00	14	16.9%
14:00 ~ 16:00	18	21.7%
16:00 ~ 18:00	20	24.1%
18:00 ~ 20:00	8	9.6%
20:00 ~ 22:00	5	6.0%
22:00以降	16	19.3%
無回答	6	7.2%
計	200	

N=83

終業時間は?

・終業時間は 17:00~17:30 が 49.0%と │・終業時間は 16:00~18:00 が 60.2%と 最も多く、次いで 17:30~18:00 が 34.9%となっている。

最も多く、次いで 22:00 以降が 34.9% となっている。

終業時間

選択肢	件数	% 10% 20% 30% 40% 50% 60%
16:00より前	5	2 1.7%
16:00 ~ 16:30	6	2.1%
16:30 ~ 17:00	18	2 6 2%
17:00 ~ 17:30	143	49.0%
17:30 ~ 18:00	102	34.9%
18:00 ~ 18:30	17	5!8%
18:30 ~ 19:00	0	0.0%
19:00以降	5	3 1.7%
無回答	2	0.7%
計	298	

N=292

44 光吐田

終業時間	
選択肢	件数 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%
2:00より前	6 22 7.2%
2:00 ~ 4:00	8 222 9.6%
4:00 ~ 6:00	6 22 7.2%
6:00 ~ 8:00	14 ////// 16.9%
8:00 ~ 10:00	15 //////// 18.1%
10:00 ~ 12:00	0 0.0%
12:00 ~ 14:00	6 2 7.2%
14:00 ~ 16:00	17 20.5%
16:00 ~ 18:00	50 (60.2%
18:00 ~ 20:00	20 24.1%
20:00 ~ 22:00	20 24.1%
22:00以降	29 ////////////////////////////////////
無回答	9 222 10.8%
計	200

N=83

従業員数は? (わかる範囲で結構です)	名 → (従業員のうち、	正社員	契約社員	、派遣社員等 _名)
	→ (従業員のうち、	技術系8	、営業系	、事務系

- ・従業員総数は約36,000人となっており、そのうち「正社員」が72.4%と最も多く、 次いで契約社員が14.5%となっている。
- ・また、業務内容では、「技術系」が59.8%と最も多く、次いで「事務系」が20.7%となっている。





N=29,597

総従業員数 35,934 人のうち不明 6,337 人除く

従業員の居住地は? (わかる範囲で結構です) 豊橋市_____₈、豊川市____₈、新城市____₈、宝飯郡____₈、

・従業員の居住地は「豊橋市」が 73.6%と最も多く、次いで「豊川市」が 7.0%となっており、他都市からの通勤が少ない。

選択肢	件数 ⁰	% 1	0% 2	0% 3	0% 4	10%	50% 6	60% 7	′0% 8	30%
豊橋市	23,728								73.6	%
豊川市	2,269	7	.0%	1	1	1	1	1	1	1
新城市	903	2.8%	1	1		1			1	
宝飯郡	808	2.5%	1	1	I I	1	1	1	1	I I
田原市	1,275	4.0%	1	1 1 1	1	1				
岡崎市	358	1.1%	1	1	I I	1	i I	1	i I	i i
蒲郡市	465	1.4%	 	 	1	 			 	1
名古屋市	235	0.7%	1	1	I I	1	I I	1	1	I I
湖西市	649	2.0%	1	1	1	1			1	1
浜松市	668	2.1%	1	i I	I I	1	i i		i I	i I
新居町	82	0.3%	1	1 1 1	1	[[1
その他	785	2.4%	1 1	1 1	i 1	i I	i I	i I	i I	i i
計	32,225									

総従業員数 35,934 人のうち不明 3,709 人除く

徒歩<u>8</u>自転車<u>8</u>二輪車<u>8</u> 従業員の通勤手段は? ※代表的なものでお答え ください (わかる範囲で結構です) 社用車<u>8</u>路線パス<u>8</u> 百乗<u>8</u> 電車<u>8</u>路面電車<u>8</u>その他(<u>9</u>8

・通勤手段は「自家用車」が 76.1%と最も多く、自己による運転では 42.9%となって おり、他手段はどれも 1 割に満たなかった。

	選択肢	件数 0	% 10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%
徒步	<u> </u>	1,184	3.6%	I I	I	1			I I	
自転	車	2,308	7.0%	į	İ				i	i I
二輔	車	563	☑ 1.7%	1	I I				1	_76.1%
自家	7用車	24,927					<i>unium</i>		unium	7 6.1%
	運転	14,070			-	4	2.9%	1		1
	同乗	136	0.4%	i	į	i I	i	i	i	i
社月	車	649	2.0%	1	I I	1		1	1	1
路線	泉バス	614	1.9%	į	į	i	į	į	i	i
社員	員用通勤バス	348	1.1%	1	ļ ļ	1		1	1	1
電車	<u> </u>	1,930	5.9%	į	į	i	į	į	i	i
路面	電車	110	0.3%	1	I I	1		1	1	1
そσ.	他	129	0.4%	į					i	1
計		32,762								

自家用車の運転と同乗の別は回答のあった数のみ 総従業員数 35,934 人のうち不明 3,709 人除く

事業所の徒を	5圏内(概ね
500m) に公ま	‡交通機関が
ありますか?	(あるもの全て
に くをつけてく	ごさい)

□ 電車がある □ 路面電車がある □ 路線バスがある □ ない

・徒歩圏内の公共交通機関としては、「路線バス」が 68.0%と最も多く、次いで「ない」が 24.8%となっている。

選択肢	件数 0	% 1	0%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%
電車がある	55			15.9%	1	1				1
路面電車がある	51		<i>iiiiii</i> 1	4.7%	 	i	i	i	į	i
路線バスがある	236								////// 68.0%	
ない	86				24.8%	į	i	i	į	i 1
無回答	6	2 1.7%	1	I I	1	1 1	1	1	1	I I
計	434									

N = 347

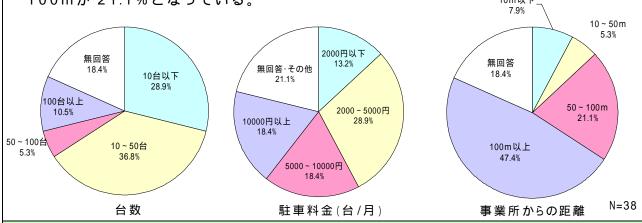
□ 有料の社員用の通勤バスがある(従業員用通勤バスが 円/月) ありますか? □ 無料の社員用の通勤バスがある □ 社員用の通勤バスはない ・従業員用通勤バスは92.8%の事業所が「ない」とな 無料の社員用の 通勤バスが 有料の社員用の 通勤バスが っている。 ある ある 無回答 5.2% 0.0% 2.0% 社員用の通勤 バスはない 92.8% N = 346通勤バスが"ある"と"ない"両方に回答した1社を除く 自動車通勤の制限は ありますか? □ 自動車通勤は許可制 □ 自動車通勤は自由 □ その他(・自動車通勤の制限は、「自由」が55.6%と最も多く、 無回答 その他 4.6% 次いで「許可制」が35.7%となっている。 4.0% 自動車通勤は 許可制 35.7% 自動車通勤は 自由 55.6% N = 347→事業所から約 □ 有 料(従業員用駐車場は 口無 料(→事業所から約 ありますか? 口無 し ※代表的な駐車場までの距離をお書きください ・駐車場は、「無料駐車場」を備えている事業所が82.1%と最も多く、次いで「有料駐 車場」が11.0%となっている。

選択肢	件数(% 10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%
有料駐車場	38		11.0%	1	1	1				
無料駐車場	285								//////// 82	2.1%
なし	27	7.89	6	1	1	1	1	 	1	1
無回答	5	1.4%	į	i	i	i	i I	İ		i
計	355									

N = 347

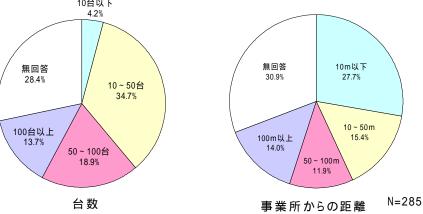
有料駐車場のある事業所 38 社

- ・有料駐車場の台数は 10~50 台が 36.8%と最も多く、次いで 10 台以下が 28.9%と 比較的小規模な駐車場が多くなっている。
- ・月当たりの駐車料金は 2000~5000 円/台が 28.9%で最も多く、次いで 5000~10000 円/台と 10000 円以上/台がそれぞれ 18.4%となっている。
- ・事業所から有料駐車場までの距離は、100m以上が 47.4%と最も多く、次いで 50~100mが 21.1%となっている。 10m以下、



無料駐車場のある事業所 285 社

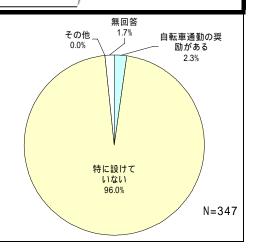
- ・無料駐車場の台数は 10~50 台が 34.7%と最も多く、次いで 50~100 台が 18.9% となっている。
- ・事業所からの距離は、10m以下が 27.7%と最も多く、次いで 10~50mが 15.4% と比較的近距離が多い。 10台以下



自転車通勤の奨励制度は ありますか?

□ 自転車通勤の奨励がある □ 特に設けていない □ その他(□ → (具体的に:)

・自転車通勤の奨励制度を採用している事業所はわずか 2.3%と、ほとんどの事業所が設けていない。



	自動車通勤に対する補助は	□ 一律	□ 距離制	□ 実費	ロない
通勤に対する補助(支給)	鉄道・バス等通勤に対する補助は	□ 一律	□ 距離制	□ 実費	□ ない
制度はありますか?	自転車通勤に対する補助は	□ 一律	□ 距離制	□ 実費	口 ない
	徒歩通勤に対する補助は	□ 一律	□ 距離制	□ 実費	ロない

- ・自動車通勤に対しては、「距離制」が75.8%と最も多くなっている。
- ・鉄道・バス等通勤に対しては、「実費」が59.1%と最も多くなっている。
- ・自転車に対しては、「ない」が 45.0%と最も多く、次いで「距離制」が 32.3%となっている。
- ・徒歩に対しては、「ない」が 63.4%と最も多く、次いで「距離制」が 16.7%となっている。

自動車通勤に対する補助

<u> </u>									
選択肢	件数 0	% 10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%
一律	33	9.5%	I I	I I	1	1	1	1	!
距離制	263								75.8%
実費	21	6.1%		1	1	1	1	1	1
ない	24	6.9%		1 1 1	 	 		 	
無回答	7	2.0% ¦	1	l I	1	I I	1	I I	1
計	348		,	•	•	•		,	-

鉄道・バス等通勤に対する補助

選択肢	件数 0	% 10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%
一律	17	4.9%	1	1	I I	1	!	-
距離制	47		13.5%		 	l I	1	
実費	205						59.1%	!
ない	39	11	.2%		I I I	ļ ļ		
無回答	42	1:	2.1%		1	į Į	1	i İ
計	350		•		•	•	·	•

自転車通勤に対する補助

選択肢	件数 0	% 10%	20%	30%	40%	50%
一律	40	//////////////////////////////////////	1	I I	1	1
距離制	112				%	1
実費	3	0.9%	1	1	!	1
ない	156					45.0%
無回答	37	10.7%	1	1	1	1
計	348					-

徒歩通勤に対する補助

25 58	7.2%	16 7%	 	 	 		1
58		777 16 ¹ 7%	!	1	1	1	
+		<u>///</u> 10.7 %	i I	1	i		
0	0.0%	İ	į į	i i	i	i I	i
220							3.4%
44	<i></i>	2.7%	i I	i i	1	i I	i
347	,	•		•	•	*	
	220 44	220 44 44 44 44 11 11	220 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44	220 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44 44	220 44 /////////////////////////////////	220 44 44 12.7%	220 44 44 11.7%

- 11 -

従業員のマイカーを減らす工夫

実施状況

・マイカー通勤を減らす工夫への取り組みは「勤務体系の変更」が 16.4%と最も多くなっている。

(無回答は除く)



■既に実施している □ 実施していない

実施していない場合の検討の可能性

- ・実施していない場合の検討の可能性が充分ありうる取り組みは「従業員への働きかけ」が 11.6%と最も多くなっている。
- ・一方、検討が難しい取り組みは「従業員用通勤バスの導入・充実」が85.4%と最も多くなっている。

(無回答は除く)



■十分ありうる 図 わからない □検討は難しい

行政と一緒に通勤交通対策に取り組む場合、協 ただけますか?	協力してい□ 積極的に協力する□ 協力できると思う□ わからない□ 協力は難しい
・市全体では、約4割の事業所が行政	•
	(複数回答は除く)
6.2% 30.5%	47.8% 12.0% 3.5%
積極的に 協力で ると思	でき
	N=341
マイカー通勤について	
貴事業所には、	ロ 十分、あると思う ロ あると思う
マイカー通勤を減らしたいという	
意図はあると思いますか?	口 やや、あると思う ロ ないと思う
・市全体では、約 5 割の事業所がマイ 	′カー通勤を減らしたいと思っている。
6.9% 13.8% 26.8%	46.4%
大分ある ある と思う 思う	
	N=347
貴事業所で、マイカー通勤を	□ 十分、あり得る □ あり得る
減らす試みを実施することは、 今後、あり得ると思いますか?	□ やや、あり得る □ あり得ない
	└────────────────────────────────────
ている。	
2 <mark>.0% 8.9% 33.1%</mark>	49.6%
十分ある ある。 と思う 思う	と じゅう と思う と思う 思う 無回答
	N=347
マイカー通勤抑制をした場合に、従業員は	賛成する どちらとも言えない 反対する
どのように感じると思いますか?	
│・市全体では、1割弱の事業所がマイ │	カー通勤の抑制に賛成すると思っている。
2 <mark>6% 17.0% 24.8%</mark>	49.6% 6.1%
	O N ++++ +++
7.5 17.5 0	<u> </u>

環境への取り組み

マイカー通勤を 抑制することで得ら れると思う効果

	地球環境の改善		□ 従業員の	の交通事故減少	□ 従業員の健康増進
П	歩準の解消	П	经费当心或	ロー海刺の減小	ロ 企業の社会的言語

□ 企業イメージの向上 □ その他(

・マイカー通勤抑制を実施することで得られると思う効果としては、「地球環境の改善」が 61.4%と最も多く、次いで「渋滞の解消」が 50.7%となっている。

選択肢	件数 ⁰	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70	′0%
地球環境の改善	213	61.4%	1
従業員の交通事故減少	151	43.5%	l l
従業員の健康増進	62	17.9%	1
渋滞の解消	176	50.7%	1
経費削減	56	16.1%	
遅刻の減少	21	6.1%	I I
企業の社会的貢献	102	29.4%	1
企業イメージの向上	38	11.0%	i I
その他	5	1.4%	1
無回答	42	12.1%	I I
計	866		

N = 347

環境マネジメント 取り組みについて (認証若しくは検討し ている場合は~を付け てください。 取り組みをしていない 場合には、今後取り組む 意欲について~をつけ てください。)

	ISO14001**	□ 認証を取得している	□ 認証の取得を検討している	□ 裏証を取得する予定はない
U 1	KES(ステップ1)*	□ 認証を取得している	□ 認証の取得を検討している	□ 製証を取得する予定はない
	KES(ステップ2)**	□ 認証を取得している	□ 認証の取得を検討している	□ 認証を取得する予定はない
かり	グリーン経営認証 [※]	□ 認証を取得している	□ 認証の取得を検討している	□ 認証を取得する予定はない
	その他(□ 認証を取得している	□ 認証の取得を検討している	□ 調証を取得する予定はない

- ・環境マネジメント取り組みについて、認証を取得している事業所は少なくなっており、 認証を取得している項目は「ISO14001」で最も多く 24.9%となっている。
- ・一方、認証の取得する予定のない事業所は6~9割以上と多くなっている。

(無回答は除く)



■ 認証を取得している ■ 認証の取得を検討している ■ 認証を取得する予定はない

その他の環境への 取り組みがあれば 記入してください

・取り組み総数は 49 件となっており、記入内容を細分化してまとめると、CO₂ や NOx 排出対策が 25 件と最も多くなっており、次いで廃棄物(ゴミ)の削減・リサイクル が 14 件と多くなっている。

取り組み総数(記入事業所数):49件

- ・エコドライブ、アイドリングストップ、低燃費・低排出車への切り替え等の CO_2 や NOx 排出対策(25 件)
- ・廃棄物(ゴミ)の削減・リサイクル(14件)
- ・530活動等の地域活動参加(7件)
- ・自社での環境エコプログラム策定、県・市の環境関連計画に沿った行動(6件)
- ・ウォームビズ、クールビズ等による省エネ活動(3件)
- ・エコマーク認定商品等リサイクル品の購入(3件)
- ·ISO14001の認証(1件)
- ・老朽設備の更新による電力使用量の削減(1件)
- ・一定距離内の人の通勤は自転車又は、徒歩としている(1件)
- ・環境対策になるものを製造(1件)
- ・公務で外出する場合の相乗りを励行(1件)
- ・昼食時のマイ箸持参(1件)
- ・その他(2件)

意見

- ・自転車にやさしい歩道。もう少し歩行者にやさしい歩道を考えて頂ければ、市街地への仕事は自転車又は、徒歩で行きたい(1件)
- ・認証を取得までの経費や、時間的なリスクを考えると出来ない(1件)

Q. 豊橋市の交通について何か意見がございましたらご記入ください。

- ・意見総数は 93 件となっており、記入内容を細分化して分類すると、提案が 57 件、 否定的な意見が 56 件と多くなっている。
- ・公共交通への意見が提案で29件、否定的な意見で42件と多くなっている。

意見総数(記入者数):93件

肯定的(2件)

- ・近くの二川駅よりの徒歩環境がだいぶ良くなって来ているので、電車の利用の推進 は今後可能(1件)
- ・パーク&ライドの推進については従業員に対してECOポイントを支給する等の取組みにて支援している(1件)

提案(57件)

・公共交通の整備・充実(29件)

田原市との連携

市電の路線延長、環状線化、駅の新設

路線バスの拡充、増便、バス停の増設、料金低減、時間帯によってはマイクロバスで運行、市営無料バスの導入

JR 駅の増設

・道路新設・改良等による渋滞緩和(16件)

右折帯の設置、立体交差化等交差点改良

渋滞箇所の道路改良

歩道の整備(自転車通行に配慮)

信号サイクルの時間帯による変更

バイパス、基幹道路の整備

- ・駐車場、駐輪場整備(3件)
- ・企業団地での乗合バス(シャトルバス)の運行(2件)
- ・マイカー通勤を減らすこと、市電の PR の推進(2件)
- ・富山市を見習う(2件)
- ・時差出勤の推奨(1件)
- ・市内無料貸自転車の設置(1件)
- ・自転車通勤への通勤手当ての上積み(1件)

否定的(56件)

・公共交通機関が不便(42件)

充実していない(運行地域が限られている、バス停が少ない、本数が少ない、始 発が遅い、終バスが早い、他の交通機関と連絡していない等)

施設(ショッピングセンター、職場等)が不便なことろに立地している。

時間ロスが多い

運賃が高い

- ・交代勤務等、勤務時間帯によりマイカーによる通勤が必要(6件)
- ・道路整備が遅れている(3件)
- ・マイカー通勤を抑制するインフラが整備されていない(1件)
- ・通勤バスを運行する費用がない(1件)
- ・夜間に自転車を使わせるのは危険(1件)
- ・帰りは自由行動で1人で帰りたい(1件)
- ・駅西ロータリーでの人と車の流れが悪く危険(1件)

その他(11件)

渋滞や工事、運転手のマナーの問題等